※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	高等学校　現代地理Ａ　新訂版（清水書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理という空間軸を考える。学校周辺、大阪周辺、近畿、日本、アジア、世界という生徒を中心とした同心円的領域の拡大を通じて学習を進める。
・地理的な空間把握と歴史軸を重ね、「なぜ」という視点から、地理的事象が生じる要因を探究する。

2　学習の到達目標

・地図に親しみ周辺地域への関心を深める。
・日本の全体を自然地理、人文地理的に大枠として理解する。
・世界も同様に空間的な理解を進める。
・国際関係の基本を理解する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	国際化社会における他国との関係、同時に地域社会との関係についても関心と意欲をもち、その社会の変化に対応する態度、能力を形成する。	現代世界の諸課題を地理的観点から考察し、国際社会の変化をふまえて、適切に個人の判断が出来、そのことについて表現ができる。	地図を見て、確実にその地にたどりつく技法を身につける。またそのため、さまざまな情報から適切な情報を取捨選択する能力を養成する。	地理的、空間把握に歴史認識を重ねながら、国際社会に通用する知識を身につける。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 レポート	定期考査 レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	地球儀や地図から捉える現代社会	・大阪の地図、日本の地図を詠み込み、日本の位置を領土、領海、領空という概念も含み理解させる。 ・地球上の位置と国家	○	○	○	○	a:大阪の自然環境や市町村の特色に関心を持っている。 b:地図から様々な情報を読み取って思考する。 c:様々な地図を活用して情報を取捨選択する技能を身につける。 d:大阪と日本の市町村、都道府県など地域区分を理解している。	ワークシート レポート
		・国家間の結びつきを理解させ、その変化の要因と結果を考察させる。	○	○	○	○	a:世界の貿易などに日常的に興味を持っている。 b:日常生活と結びついた貿易などの遷移を思考する。 c:貿易統計資料などを活用する技能を習得する。 d:日常生活と国家間の関係についての知識を理解する。	ワークシート レポート
	グローバル化が進む世界	・拡大する世界の貿易・国際化と人々の移動 ・現代世界の人間の行動拡大・消費行動の変化・余暇活動の多様化などを地理的環境と結びつけて考察させる。	○	○	○	○	a:消費・余暇行動が地理的環境と結びついていることに興味関心を持っている。 b: 人間の行動拡大・消費行動・余暇活動の多様化などを地理的環境と結びつけて思考する。 c: 世界の貿易収支や消費や余暇活動についての各種統計を活用する。 d: 国際的な貿易機関、貿易協定や、経済連携協定、消費や余暇活動に対する知識を身につける。	ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

	人間生活を取り巻く自然環境と社会環境(1)	・人間は自然環境と社会環境に影響されながら生活していることに気づかせる。 ・自然環境：地形・気候が人間生活に与える影響を考察させる。 ・社会環境：言語・宗教が人間生活に与える影響を考察させる。	○ ○	○ ○	○ ○		a:地域の自然環境について関心をもつ。 b:自然環境、社会環境の関連について思考を深める。 c: 自然環境と社会環境に関する資料を活用する能力を身につける。 d:自然環境と社会環境の地理的な分布と相互の関係についての知識を習得する。	ワークシート レポート 定期考査
後期	世界の諸地域の生活・文化(1)	・世界の諸地域の生活・文化を地理的環境と関連付けて考察させ、異文化を尊重する態度を養わせる。 ・近隣諸国 ・東南アジア・インド・中近東	○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:アジア地域を中心とした地域の生活文化や地理的環境に興味関心を持つ。 b:アジア、近隣諸国の生活・文化を地理的環境と関連付けて思考する。 c: アジア各国の生活・文化や地理的環境に関する資料を活用する。 d:近隣諸国やアジア地域の生活・文化や地理的環境についての基本的な知識、理解する。	ワークシート レポート
		・世界の諸地域の生活・文化を地理的環境と関連付けて考察させ、異文化を尊重する態度を養わせる。 ・ヨーロッパ　アフリカ ・北米　南米 ・オーストラリア	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a:アジア地域外を中心とした地域の生活文化や地理的環境に興味関心を持つ。 b: アジア地域外を中心とした地域の生活・文化を地理的環境と関連付けて思考する。 c: アジア地域外を中心とした地域の生活・文化や地理的環境に関する資料を活用する。 d: アジア地域外を中心とした地域の生活・文化や地理的環境についての基本的な知識を得て理解する。	ワークシート レポート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	地球的課題と私たち	・主要な地球的課題の要因と動向を理解させる。	○	○	○	○	a:地球規模の課題の要因と動向などに日常的に興味を持っている。 b:環境問題など日常生活と結びついた地球的課題についての思考する力を養う。 c:環境問題資料などを活用する技能を身につける。 d:環境問題など地球的課題に関する知識を得て理解する。	ワークシート レポート
	身近な地域の課題	・日本の自然環境と防災 ・日本の自然災害を地理的に考察し、防災の必要性と方法を理解させる。	○	○	○	○	a:自然災害の課題などに日常的に興味を持っている。 b:地震など日常生活と結びついた自然災害について思考し、防災について判断する力を養う。 c:防災資料などを活用する技能を身につける。 d: 自然災害と防災に関する知識を得て理解する。	ワークシート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。